

0624

大師副戎第七六號

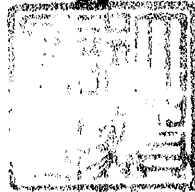
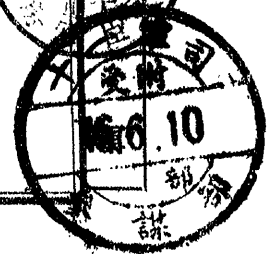
變死者（未遂）ノ件報告書

昭和十六年五月二十九日 第三十四師團長 大賀

陸軍大臣 東條英機 殿

首題ノ件別紙ノ通報書又

第十一軍經由



(納本取)版大

重大ナル軍紀違反事項ニ關スル報告

支那派遣軍總司令部

陸軍

一 所屬部隊及官氏名

中支那野戰貨物廠上海支廠衛生材料科

加害者 臨時庫手

被害者 全

劉恩準

二 發生年月日時

昭和十六年五月二十七日一九三〇

三 違反事項ノ概要

ノ五月二十七日前記

ハ同劉恩準ト共ニ吳淞鎮ニ允許外出シ

軍人俱樂部ニ於テ飲酒セル處劉ハ過飲ノ爲泥酔シ一四〇〇頃吳

淞クリークニ顛落セリ

ニ依テ江ハ之ヲ救ヒ上ケ衣服ヲ濡ラセルヲ以テ劉ノ希望ニ依リ慰

安所新上海ニ到リ一時間分ノ金()ノモノ()ヲ支拂登樓セ

シメ歸隊ノ上一七〇〇迄ニ衣服ヲ持參スルコトヲ約シ劉ノ濡レ

タル衣服ヲ持チテ歸隊セリ

然ルニ劉ハ約束セル時刻ニ先ダチ新上海ヲ出テ脱衣ノ儘彷徨シ

- アルヲ白川橋衛兵所歩哨ニ咎メラレ注意セラレアリシトキ同科
 勤務西出雇員所用ノ爲通り合ハシ直ニ隊ニ連絡シ弓山伍長出向
 シ一八〇〇過連行歸隊セリ
- 4 歸隊後兩人ハ前記約束時間ノコトニ關シ詰り合ヒ若干口論セル
 モ日直下士官其他ニ制セラレ鎮靜セリ
- 5 然ルニ江ハ一九〇〇頃夕食ヲナスヘタ炊事場ニ到リ焼肉ヲナサ
 ントシテ刺身庖丁ヲ用意セルモ焼肉ハ中止シ食事中偶々割ハ醬
 油ヲ受領スヘク來合ハシ再ヒ口論ヲ始メ遂ニ双方殴り合ヒ現場
 ニ來合セタル松山一等兵、林庫手ノ制止スル所アリシモ突然
 ハ調理臺ノ下ニ置キアリシ前記刺身庖丁ヲ取り割ノ腹部ニ刺創
 セリ
- 6 日直士官岩脇藥劑中尉ハ直ニ加害者ヲ衛兵所ニ留置スルト共ニ
 衛生材料科主任伊奈藥劑少佐及支廠本部ニ急報シ支廠本部ヨリ
 軍醫急行シ應急處置ヲナシ上海陸軍病院ニ入院セシムヘク輸送
 途中出血多量ノ爲二〇三〇遂ニ死亡セリ
- 7 刺創ハ一箇所エシテ臍ノ上部正柱線上約三糎ノ箇所ヨリ稍右上
 方ニ向ヒ傷口四糎深サ十二糎胃袋ニ達スルモノニシテ致命傷ナ
 リ

四 原因及動機

今日迄調査シタル所ニ依レハ平素親密ナリシモノニシテ怨恨ニ因ル計畫的犯行ト認ムヘキ點ナク金ク飲酒ニ因リ一時的激情ニ驅ラレシモノト認メラル

五 處置

上海支廠長ハ衛生材料科主任ノ報告ニ基キ憲兵隊ニ協力ヲ求メ上述ノ如ク事件ノ内容ヲ調査シ五月二十八日加害者ノ身柄ヲ憲兵隊ニ引渡セリ

六 責任者ノ處分

上海支廠長ハ衛生材料科主任タル伊奈藥劑少佐ニ嚴重訓戒ヲ與ヘ衛生材料係將校タル岩脇藥劑中尉ヲ譴責ニ處シタリ

七 其ノ他必要ナル事項

加害者、被害者共臺灣臺中州出身ニシテ十四年七月臺灣農業義勇團員トシテ軍農場（軍農夫）ニ勤務シ十五年九月同義勇團解散トシテ上海支廠衛生材料科炊事場ニ勤務シアリシモノナリ

變死者ノ件報告

一 徵集年官等級氏名

昭和十五年度徵集 現役陸軍二等兵

二 所屬部隊

第三十四師團歩兵第二百十七聯隊第七中隊

三 月日時

昭和十六年五月二十一日二十一時三〇分頃

四 場所

中華民國江西省新建縣南城閔

五 手段

兵舎裏壕内ニ於テ三八式歩兵銃ニ實包ヲ裝填シ銃口ヲ腹部ニ當テ壕内ノ杭ニ引鐵ヲ掛ケ之ヲ壓ス

彈藥ハ支給シアル携帶彈藥ヲ使用ス

六 平素又ハ變死前後ニ於ケル參考事項

當日日夕點呼ノ際勅諭ノ奉讀ヲ命セラレタルニ勅諭ヲ奉讀シ得ス内務班長ヨリ注意セラレタリ

七 原因

勅諭ヲ奉讀シ得サリシ爲注意セラレタルヲ過度ニ懸念シ自殺ヲ圖リタルナラン

八 故意不可抗力ノ別

故意

九 既遂未遂ノ別

既遂

陸

軍 10

一〇 處 置 當日二十二時三〇分死亡ス

一一 責任者ノ處分 中隊長及當日ノ日直下士官ヲ夫々輕謹慎三日ニ内務班長ヲ輕

謹慎七日ニ處ス

一二 其ノ他參考事項 所屬中隊ニ於テ日夕點呼後班内ニ居ラサルヲ發見シ直ニ兵力

ヲ以テ搜索ニ從事セルカ搜索兵ノ近接ヲ知り自殺ヲ決行セル

モノナリ

變死者（未遂）ノ件報告

- 一 徵集年官等級氏名 昭和十五年度徵集 現役陸軍二等兵 [Redacted]
- 二 所屬部隊 第三十四師團歩兵第二百十七聯隊第七中隊
- 三 月日 昭和十六年五月二十一日二十一時三〇分頃
- 四 場所 中華民國江西省新建縣南城關
- 五 手段 三八式歩兵銃ニ實包ヲ裝填シ銃口ヲ左前胸下部ニ當テ右脚指ヲ以テ引鐵ヲ壓ス
- 六 平素又ハ變死前ニ於ケル參考事項 彈藥ハ支給シアル携帶彈藥ヲ使用セリ
入營前胸部ヲ患ヒ其ノ後治癒入隊セルモノニシテ最近胸痛ヲ自覺シ軍醫ノ診斷ヲ受ケタル處輕度ユシテ考慮ヲ要セサル旨言渡サレ居リタルモ病苦ヲ惱ミアリタルカ如シ
身體虛弱ナル爲戰地勤務ニ堪ヘ得スト思ヒ詰メタル結果神經衰弱トナリ自殺ヲ圖リタルナラン
- 七 原因 故意不可抗力ノ別
- 八 故意

六、既遂未遂ノ別 来 遂

一〇、處 置 入院セシム

一、責任者ノ處分 中隊長及當日ノ日直下士官ヲ夫々輕謹慎三日ニ内務班長ヲ輕

謹慎七日ニ處ス

二、其ノ他參考事項

所屬中隊ニ於テ日夕歸呼後班内ニ在ラサルヲ發見シ直ニ兵力ヲ以テ搜索ニ從事セルカ搜索兵ノ近接ヲ知り自殺ヲ決行セルモノナリ

重大ナル軍紀違犯事項ニ關スル報告

支那派遣軍總司令部

一 所屬部隊及官氏名

中支那防疫給水部

補充兵役陸軍衛生一等兵

二 發生年月日

昭和十六年三月十三日

三 違犯事項ノ概要

昭和十六年三月十三日〇九三〇頃逃亡歸國ヲ決意部隊襄門前ニ在
 ル藥草園ニ行クト稱シ襄門歩哨ヲ欺キ出門シ一旦藥草園ニ到リタ
 ル後同園ヲ脱出シ同日一五〇〇南京驛ヨリ上海行列車ニ乗車蘇州
 ニ到リ同地ニ於テ支那人家屋ニ一泊翌十四日杭州ニ到リ同市吳山
 路濟泰第二旅館ニ宿泊シ翌十五日一三〇〇頃同旅館第七十二號室
 ニ滞在中ノ同市學士路三和洋行店員杉尾重行ノ許ニ到リ同人ノ外
 出後其ノ妻女ト談話シ居リタルカ一五〇〇頃同女カ所用ノ爲旅館
 輦場ニ赴キタル隙ニ乘シ同室ノ洋服箆筒ヨリ冬洋服ヲ竊取シ變裝
 ノ上市内徘徊中憲兵ニ逮捕セラレタルモノナリ

陸軍

四 原因及動機

國許ニ殘シタル老父及幼兒ノ身上ヲ案シ惜別ノ情斷テ難ク逃走歸國セント決意セシユ因ル

五 處置

軍中哨兵ヲ欺キ哨所ヲ通過ス竊盜被告事件ニ付支那派遣軍臨時軍法會議ニ於テ審理ノ結果懲役七月ニ處セラル

六 責任者ノ處分

ナシ

七 其ノ他必要ナル事項

ナシ

重大ナル軍紀違犯事項ニ關スル報告

支那派遣軍總司令部

一 所屬部隊及官氏名

第一電信隊第一次通信工手要員

(天谷部隊白石部隊新名隊)

第四十師團山砲第四十聯隊第二中隊

陸軍二等兵

二 發生年月日

昭和十六年五月九日

三 違犯事項ノ概要

二等兵ハ昭和十六年二月出征以來有線通信修業兵トシテ事務勤務ニ従事シ五月一日南京通信教育隊ニ昭和十六年度第一次通信工手要員トシテ分遣セラレ入隊中五月九日一〇〇〇頃同班ノ官協二等兵ト共ニ受診シ練兵休ト診定セラレ二等兵ハ通番下士官ニ引卒セラレテ先ニ贈粧シ内務班ニ殘留シ居リタル處偶々同班ノ天谷部隊白石部隊安宅隊所屬陸軍二等兵泉田徳吉ガ五月六、七日頃風呂敷敷包内物品ノ點檢中現金ノ收藏シアリシヲ思ヒ出シ發作的

陸軍

ニ盗心ヲ起シ手箱ニ入レアリシ金拾四圓（日本紙幣）ヲ竊取シ五月十一日（日曜日）陸軍兵長上條茂雄ノ引卒ヲ以テ一二三〇頃外出シ南京市内映畫館中喜劇場ニテ映畫觀覽途中同所ヲ出テ竊取セル日本紙幣金拾圓也（五圓紙幣二枚）ヲ中喜劇場附近ニテ通り掛リノ日本人ニ依頼シ軍用手票ト交換ノ上近タノ食堂ニ立入り飲食シ金貳圓貳拾錢ヲ支拂ヒ再ヒ中喜劇場ニ入り映畫觀覽ヲ終リタル他兵ト共ニ引卒セラレテ歸隊ス尙同日以後煙草、石鹼、パン等ニ依リ事件發覺ノ五月十六日迄ニ計金約七圓餘拾錢ヲ消費シモノナリ

四 原 因
 入隊前ヨリ乘^餘裕アル收入ニヨリ放縱ノ生活ヲ爲シ相當金錢ヲ亂費セルモノニシテ出征以來兵トシテノ俸給ハ本人ノ慾望ヲ滿ス能ハザリシニ因ル

五 動 機
 金錢ニ窮迫シアリシトキ同内務^ノ職ノ戰友泉田二等兵ガ所持セル現金ヲ手箱ノ中ニ入レアルヲ目撃シ居リ偶々受診シ練兵休ニテ内務班ニ一人殘留スルノ機ヲ會シ發作的ニ盗心ヲ起シタルニ依ル

六 處 置
 事件搜索ノ結果犯罪事實明瞭トナリタルヲ以テ軍法會議ニ送致シ

陸軍

目下審理中

責任者ノ處分

第一電信隊長ハ被害者タル陸軍一等兵
漏ナル科ニ依リ重管倉三日ニ處シタリ

ヲ貴重品ノ取扱粗

其ノ他必要ナル事項

家庭ノ狀況

父 (ハ五十五才母

(ハ五十七才エシテ本籍地ニテ農業

ヲ營ミ長女一人アルモ昭和十五年十一月十六日頃他家ニ嫁シ父

母二人エテ小作ヲ營ミ生活豊カナラス

平素ノ勤務狀況

入隊後日淺ク眞狀ヲ知り得ザルモ勤務ハ普通ナリ

前科ノ有無

無シ

其ノ他

昭和十二年八月初メ專賣局長ヨリ連轉手トシテ無事故ニヨリ表
賞狀ヲ授與セララルコトアリ

(納川助 京東 五・三十和昭)

重大ナル軍紀違犯事項ニ關スル報告

支那派遣軍總司令部

一 所屬部隊及官氏名

中支那防疫給水部

陸軍療工曹長

二 發生年月日

昭和十六年三月二十三日

三 違犯事項ノ概要

昭和十六年三月二十二日夕刻ヨリ所屬部隊下士官室ニ於テ同僚ヲ
 相手ニ強度ノ支那酒ヲ飲ミ同日二三三〇頃相當酩酊シ其ノ場ニ横
 臥假眠シ二十三日〇一〇頃湯ヲ覺エテ覺醒シ水ヲ索メテ所屬隊
 炊事場ニ立到リタル際偶々炊事場ニ近キ所屬部隊表門ノ扉カ半開
 シアルヲ認メ門衛勤務者ノ怠慢ニ因ルモノナレハ斷乎之ヲ膺懲ス
 ルノ必要アリト斷シ自室ニ歸リ服装ヲ整ヘ表門ヨリ部隊外ニ立出
 タル所附近警戒中ノ門衛阿部一等兵ヲ誰何セラレタル爲違ニ前後
 ノ思慮ヲ失ヒ酒勢ニ乗シ「俺ニ喧嘩ヲ賣ル氣カ、刀ノ棟打カ食ヒ
 タイカ」ト放言シ同一等兵ヲ脅迫シ次テ門衛控所ニ立寄り控兵タ

陸軍

ル三森一等兵ニ對シ或ハ勤務ニ關係ナキ質問ヲシ或ハ射撃姿勢、直突動作等ノ實施ヲ命シタルカ其ノ應答、動作、背筋ニ當ラサルモノアリシニ依リ甚ダ味ラサル感ヲ拘クニ至リタル折柄同一等兵力所用ノ爲控所ヲ立出テタルヲ以テ同所ニ勤務中ノ某兵ニ三森一等兵ノ日常ニ付キ訊ネタルニ該兵ヨリ三森一等兵ノ態度ハ常ニ高慢ナリト告ケラルルニ及ヒ益々不快ノ念ヲ昂メ同一等兵力同所ニ歸來スルヤ矢庭ニ兩手拳及拳ニテ同一等兵ノ顔面ヲ十數回連打シ以テ職務執行中ノ兵ニ對シ暴行ヲナシタルモノナリ

原因動機

飲酒酩酊ノ餘リ前後ノ思慮ヲ失ヒタルニ因ル

處置

支那派遣軍臨時軍法會議ニ於テ審理ノ結果禁錮六月ニ處セラル(但シ一年間刑ノ執行ヲ猶豫ス)

六 責任者ノ處分

隊長ハ部隊内幹部ニ對シ嚴ニ訓戒ヲ與ヘ處分ヲ行ハス ✓